

会 報 《第 472 号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



令和7年6月1日

目 次

I	令和7年度定時総会並びに会員交流会	・・・ 2～8 頁
	(1) 定時総会の概要	
	(2) 会員交流会の概要	
	(3) 祝電 兵庫県知事、神戸市長	
	(4) 令和7年度役員等一覧表	
II	会員寄稿	・・・ 9～11 頁
	「 黒田建築設計事務所の働き方改革と近作 」	
	(株) 黒田建築設計事務所 代表取締役 湖亀一登 氏	
III	兵庫県功労者表彰	・・・ 12 頁
IV	お知らせ 行事予定、編集後記	・・・ 12 頁
V	広報コーナー 兵庫県住宅再建共済制度	・・・ 13 頁

I 令和7年度 定時総会並びに会員交流会 (1) 定時総会の概要

日 時 令和7年5月8日(木) 17時00分～17時45分

会 場 神戸三宮東急 REI ホテル

令和7年度定時総会が会員45名の出席により開催されました。

その概要を次のとおり報告します。

1 開会 定足数の確認

正会員数	55名(定足数28名)
総会出席者	45名
	議決権を有する者33名
委任状提出者	6名
議決権	51名



(総会風景)

2 開会あいさつ 会長 山本 康一郎

本日はお忙しい中、当会定時総会にご出席いただきありがとうございます。

本日の議事等につきまして、皆さまのご協力を得ながら、進めてまいりたいと思いますので、ご協力の程お願いします。



3 議事事項

◎ 定時総会においては、令和7年度事業計画等4件の報告事項について、また令和6年度決算(案)及び令和7年度役員選任(案)の2件の議案事項について、説明を行いました。

令和6年度決算につきましては、山田監事から監査報告を行っていただきました。

そして、4件の報告事項についての了承、2件の議案事項について議決をいただきました。



(監査報告)

報告事項1	令和7年度事業計画について
報告事項2	令和7年度収支予算について
報告事項3	令和6年度事業報告について
報告事項4	会員からの情報提供について
第1号議案	令和6年度決算(案)について
第2号議案	令和7年度役員の選任(案) について

I 令和7年度 定時総会並びに会員交流会 (2) 会員交流会の概要

日 時 令和7年5月8日(木) 18時00分～19時30分

会 場 神戸三宮東急REIホテル

【会 長 挨拶】



5月に入り新緑が目にするすがすがしい季節となりました。皆様方におかれましては、お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、当会の運営に対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝と御礼を申し上げます。

本日はGWが明けて間もない、大変お忙しい日にもかかわらず、会員の皆さまはもとより、ご来賓として服部兵庫県副知事様を初め、兵庫県幹部職員の皆様、神戸市からは建築住宅局 光平副局長様のご臨席を賜りました。また、友好団体からも会長様、役員の皆様多数にお越し頂き、ごゆっくりと当会会員交流会をお楽しみください。

さて、先程開催いたしました本年度の定時総会では、令和6年度の事業報告並びに収支決算、令和7年度の事業計画、収支予算案などについて議案が上程され、承認されましたことを、まずもってご報告いたします。

前年度の月例会では、本年1月17日が阪神・淡路大震災から30年を迎える節目の年であることから、「神戸市における津波対策」と「南海トラフ地震について」学ぶ機会を設けました。視察研修会では、三木総合防災公園に建設された免振試験施設「E-アイソレーション」に行き、技術者向けに公開された免振ゴムの実証試験を見学しました。

来る6月4日の月例会は、神戸大学都市安全研

究センター教授の近藤 民代先生をお招きし、「阪神・淡路 30年×能登×南海トラフ」の演題にて講演をお願いしております。

我々建築に携わる者として、阪神・淡路大震災の経験を踏まえ、想定される巨大災害に備え、知見を深めたいと考えています。近日中に開催案内を送付いたしますので多くの方のご出席をお待ちしております。

一方、建築業界を取り巻く環境は、まだまだ厳しくも働き方改革に伴い、週休2日での施工体制が浸透しつつあります。そして、価格転嫁・取引適正化への取り組みも進み、経済成長に期待が持てる局面が近づいたことから、今年度事業はソフトな内容を取り入れ「音楽の生演奏とトークを楽しむ」月例会や、「博物館、美術館で学芸員様の講演と美術鑑賞」などの移動月例会を企画しております。

次に、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・関西万博が始まりました。当会は大阪・関西万博推進会議の一員として活動し、3月の月例会は「大阪・関西万博並びに兵庫フィールドパビリオン」について解説をして頂きました。建築をこよなく愛する建築会としては、世界最大の木造建築である大屋根リングを体感し、環境に配慮した素材や最先端のテクノロジーを用いたパビリオンの見学と、各国の文化に触れるまたとない機会と考えます。

結びといたしましては、私の会長職は新型コロナウイルス感染症が始まった令和2年5月の総会で承認され就任させて頂きました。早6年目を迎え、会員並びに関係者の皆様にご迷惑をお掛けしていると思います。本年度も皆様のご指導を仰ぎながら、理事、役員一同は、会員の期待に応えられるよう会の運営に努めてまいりますので、暖かいご支援とお力添えをお願い申し上げ結びの言葉といたします。

本日はありがとうございました。

【来賓挨拶】

(兵庫県 服部副知事)



兵庫県建築会の令和7年度定時総会並びに会員交流会の開催をお慶び申し上げます。建築会の皆様には本県のまちづくり、建築行政全般にわたり格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年は、阪神・淡路大震災から30年の節目の年を迎えました。1月17日には天皇皇后両陛下ご臨席のもと、「1.17のつどい」を無事執り行うことができました。今年は30年記念事業として、自治体、地域団体、NPO、学生など多様な主体が、多彩な関連イベントを実施し、復旧・復興の過程で培われた貴重な経験や教訓をしっかりと次代へ繋いでまいります。また、9月には、国内外の被災地と連携したサミットを開催する予定で、創造的復興の理念を広く発信してまいります。

同時に、次なる災害への備えも重要です。南海トラフ地震は、今年1月に今後30年以内の発生確率が80%程度へと引き上げられ、3月末には、国の被害想定の見直しが発表されました。県では、今年度から、より詳細な地形データや津波防災対策等の実施状況を反映し、県独自の被害想定の見直しに着手する予定です。

また、能登半島地震で再認識された高齢化が進んだ地域での住宅の耐震化について、経済的な負担をできるだけ少なくするような耐震シェルターの設置支援に力を注ぎます。さらに、阪神・淡路大震災の時に活躍された復興まちづくりの専門家の後継者育成も課題となっていますので、能登半島地震の被災地である珠洲市にベテランと若手をコンビで

派遣し、実地でノウハウの継承を図ります。

県庁舎の再整備については、現在、あり方研究会にも諮りながら、基本構想の策定を進めています。時期は未定ですが、できるだけ早く次のステップである基本計画の策定に移行したいと考えています。また、建築の分野では新たな特別支援学校の整備を含む県立学校への投資の充実、県営住宅の建て替え事業、そして県立施設の長命化などについても、着実に進めていきたいと考えています。

どうか兵庫県建築会の会員の皆様の豊富な経験、そして高度な技術力をもちまして、これらの県の施策に対する引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、兵庫県建築会の今後ますますのご発展と、本日ご出席の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、冒頭のご挨拶とさせていただきます。



(神戸市 光平副局長)



神戸市建築住宅局副局長の光平でございます。

本日は兵庫県建築会の令和7年度定時総会並びに会員交流会の開催おめでとうございます。

先ほど会長、服部副知事も話されましたように阪神・淡路大震災から30年という年になりました。神戸市でも大きな被害をうけましたが、その復旧・復興にあたりまして、兵庫県建築会の皆様をはじめ多くの建築関係の皆様に多大な尽力をいただいたことに対しまして、この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。

神戸市におきましては、震災後から震災復興の再開発、区画整理などの復興事業、その後の建築物の耐震化などに積極的に取り組んでまいりました。

それと併せて神戸市職員の多くが震災を経験していない状況もあるなか、震災の経験と教訓を伝承していくことにも取り組んでまいっております。

神戸市では、能登半島地震の復興支援にも取り組んでおり、珠洲市と穴水町を支援しています。職種で言いますと土木、建築、保健師、一般事務の職員を派遣をしています。建築ですと、住宅の応急修理対応、応急仮設住宅の維持管理、災害公営住宅の整備などに従事しています。

建築・住宅の分野では、昨年度は珠洲市に建築職1名を派遣していましたが、今年度は建築職2名、事務職1名の派遣を行っています。

現地に派遣した職員から聞いておりますと復興も思うようには進んでいない部分も多く、まだまだ復興道半ばということでした。行政として息の

長い支援が必要となってくると思っています。

また、これからの復興には現地の建築業界の皆さんの役割が今後益々大きくなっていくのではないかと考えています。

南海トラフ地震につきましても、どこの地域で起こるかが分からないため、神戸市でも他人事ではなく自分自身の課題として受け止めなければならないと痛感しております。

このような状況の中で、兵庫県建築会の皆さま、それから建設業界の皆さまと常日頃からの連携強化がますます重要であると考えていますので、よろしく申し上げます。

最後になりましたが、兵庫県建築会のますますのご発展、今日お集まりの皆さまのご健勝、ご活躍を祈念しまして、ごあいさつとさせていただきます。



(会場風景)

【乾杯（岡副会長）】

本日は、ご盛会おめでとうございます。

2025年の兵庫県の話題としましては、神戸空港の国際チャーター便の出航開始、ジーライオンアリーナ神戸の開業、丹波篠山国際博など、地域活性化の基礎となる大要素が数多くあります。

県域を対象とする我が兵庫県建築会に期待するところも大きいのではないのでしょうか。

産官連携でまちづくりを推進する兵庫県建築会への今後一層のご支援をお願いするとともに、皆さまのご健勝を祈念しまして、乾杯。



【中締（西谷副会長）】

本日は、兵庫県建築会のために、服部副知事様ほか多くのご来賓にご参加いただき、ありがとうございました。

今年は、大阪・関西万博に始まり、神戸空港に国際便が出航するなど兵庫県の発展にとっても節目の年になると思います。我々建築会もその発展に貢献していきたいと思います。

今年の事業は震災30年の節目に神戸大学の近藤先生の月例会に始まり、多様な事業を企画していますので、御参加の程よろしく申し上げます。

令和7年度が、皆様にとって素晴らしい1年になりますことを祈念して、中締めとさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。



(会場風景)

祝

電

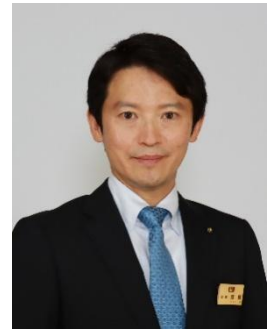
兵庫県知事 齋藤元彦様、神戸市長 久元喜造様からご祝電をいただきました。

一般社団法人兵庫県建築会 令和7年度定時総会の開催をお慶び申し上げます

日頃から、本県まちづくり・建築行政の推進に、格別なるご理解。ご協力を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

阪神・淡路大震災から三十年の歳月が過ぎました。震災を風化させることなく、経験と教訓を次の世代につないでまいります。

誰一人として取り残されることなく、安全に安心して暮らせる社会の実現に向け今後もより一層連携を深めてまいります。



兵庫県知事

齋藤元彦

一般社団法人兵庫県建築会 令和7年度定時総会のご開催をお慶び申し上げます。

平素は神戸市政に対しまして ご理解 ご協力を賜り誠にありがとうございます。

これまでの貴会の取り組みに深く敬意を表しますとともに今後ますますのご発展と会員皆様のご健勝 ご多幸を心よりお祈り申し上げます



神戸市長

久元喜造

令和7年度定時総会におきまして新役員体制が承認されました。
つきましては、この新しい陣容をもちまして、会の進展に最善の努力をしてまいる所存です。
なにとぞ倍旧のご支援ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月吉日

一般社団法人 兵庫県建築会 会長 山本 康一郎

令和7年度役員等一覧表
(事業推進員会は会長以下の役員をもって構成する)

(敬称略)

区分	令和7年度役員選任案	
名誉顧問	瀬戸本 淳	前会長
顧問	松浦 純	兵庫県まちづくり部長
	根岸 芳之	神戸市建築住宅局 局長
	柴田 和弘	(公財) 兵庫県住宅建築総合センター 理事長
	三木 健義	(一社) 兵庫県建設業協会 会長
	正木 恵子	(公社) 兵庫県建築士会 会長
	原田 敏文	(一社) 兵庫県建築士事務所協会 会長
	谷口 賢行	(公財) 兵庫県芸術文化協会 理事長
	棚田 肇	元副会長
	石田 邦夫	元副会長
会長	山本康一郎	(株) 山本設計 代表取締役社長
副会長	岡 澄彦	(株) 岡工務店 取締役副社長
	西谷 一盛	兵庫県住宅供給公社 理事長
	出野上 聡	TC 神鋼不動産 (株) 専任顧問
専務理事	吉本 義幸	(一社) 兵庫県建築会 専務理事
理事	前川真一郎	前川建設 (株) 専務取締役
	富澤 幸生	(株) 明和工務店 代表取締役社長
	北浪 孝一	丸正建設 (株) 代表取締役社長
	矢間 照人	(株) 新井組 執行役員 管理本部長
	安田 宏	双和化学産業 (株) 代表取締役
	湖亀 一登	(株) 黒田建築設計事務所 代表取締役
	宮崎 健一	宮崎建設 (株) 代表取締役社長
監事	山田 聖一	(一社) 兵庫県建設業協会 専務理事
	立花 充	(株) ノバック 代表取締役社長
幹事	木下 勝功	(一社) 兵庫県産業資源循環協会 専務理事
	瀬尾 武夫	(株) 宮本設計 代表取締役 代表
	池内 修	(株) 池内工務店 代表取締役
	谷口 正樹	(株) 家根源 取締役会長
	吉川 壽一	(株) 吉川組 代表取締役社長
	坂井 豊	(株) 柄谷工務店 常任顧問
	長坂 浩	(株) オフィスナウ 代表取締役
	杉田 健一	(株) 森長組専務取締役

Ⅱ 会員寄稿

「 黒田建築設計事務所の働き方改革と近作 」

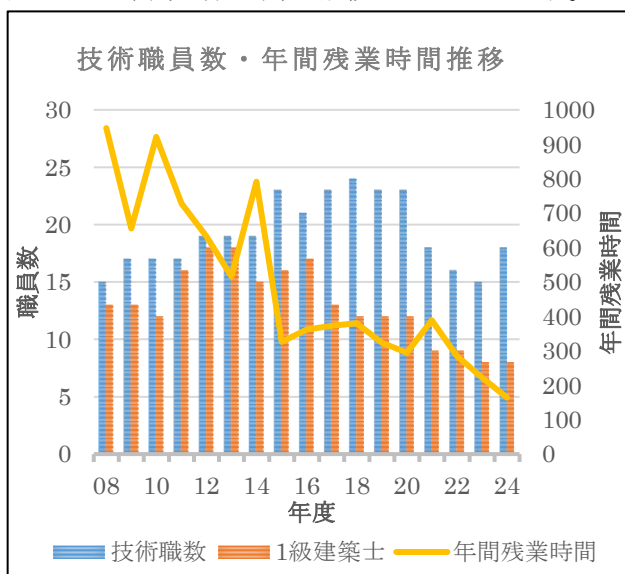
(株) 黒田建築設計事務所 代表取締役 湖亀一登 氏



— 働き方改革への取組 —

弊社は兵庫県・神戸市をはじめとする近隣自治体からの公共案件および兵庫県内の事業者を主体とする民間案件をほぼ半々の割合で建築設計を受けてきました。公共案件では公営住宅・学校を中心に様々な建物種類の建築を新築・改修設計させていただいています。民間案件では事務所ビル・商業建築・工場・倉庫・病院・福祉施設等こちらも様々な建築に携わらせていただいています。

ところが直近数年は少し状況が変わってきております。官民比率が3:7から2:8ほどと民間比率が非常に高まっています。要因は大きく2点あります。1つは弊社のおつきあいのある民間事業者（特に工場関係）が長年の設備投資抑制から積極的な設備投資へと舵を切られ、生産設備の増強が盛んになってきたこと。1つは弊社中堅社員的大量離職により公共設計を任せられる担当者の不足。下表は弊社の技術職員数・一級建築士数・1人当たり年間残業時間の推移を示しています。



注1：2015年 環境設計工務（設備設計）合併

注2：2021年 代表取締役就任

1人当たりの年間残業時間は順調に減らすことはできていたのですが、1人が同時並行で何件もの案件を抱えている状況に疲弊し将来への展望が描けないという理由から離職されていく状況が続いていました。

先々代、先代社長のころから一般普通の会社を目指し、様々な取り組みを行ってきました。人事評価制度の導入、社内面談制度、ノー残業デーの取組み、みなし残業制度の撤廃、奨学金返済補助の導入、完全週休二日制の導入、確定拠出企業年金の導入【予定】と改革に取り組んでまいりました。どれも当たり前のことと言われればそれまでなのですが、建築設計事務所というところは、丁稚奉公的な雰囲気も残っていて、乱暴な言い方をすれば建築の勉強をしながら給料ももらえるのだから文句を言うな的な雰囲気が残っていました。そのような体質では近頃の若者には見向きもされませんし、定着率も良くありませんでした。

しかし、様々な施策の導入と直近の建築技師単価の上昇そして建設業残業時間規制のおかげもあり、社内の就業環境はかなり改善されてきていると感じております。社員のみなさんの表情にも明るさを感じておりライフワークバランスの取れた働き方ができていくものと思っております。

— 近 作 —



大久保病院東館



株式会社ハヤブサ 本社・物流センター



兵庫県社会福祉事業団
特別養護老人ホーム 万寿の家



神戸市立高羽児童館



株式会社カコテクノス カコテラス



兵庫県社会福祉事業団 出石精和園成人寮
(障害者支援施設)



せんだん会 複合福祉施設

2020 年～2024 年竣工の建物を掲載させていただきます。‘20 年代初旬のころはその 2 年ほど以上前から計画がスタートしていますので比較的、福祉施設や病院関係が多いです。建設物価の高騰に直面しつつもまだ坪単価 100 万円程度までで採算が取れておりました。

しかし、2020 年代に入ると設計段階から坪 120 万～150 万円程度まで建設物価が上がり福祉・病院関係は計画が途中で頓挫するケースが出てきました。代わって増えだした仕事が工場・物流関係です。設備投資への需要は旺盛で建築主は建設物価の高騰に驚きながらも計画が止まることはありませんでした。



神戸聖隷福祉事業団
友が丘総合事業所 「神戸聖隷オアシス」



梶原鉄工所 白浜工場



阪神内燃機工業 播磨高度研究棟



株式会社カナモト神戸 K ビル



トーカロ 播磨工場



寿精版印刷 高井田工場

時代の移り変わりと共に求められる建築種別は変わっていき技術の変化も激しいですが、時代のニーズに的確に答えられるよう、我々黒田建築設計事務所社員一同も日々進化していきたいと思えます。

Ⅲ 兵庫県功労者表彰

この度、当会副会長の岡 澄彦氏（株式会社岡工務店 取締役副社長）が県建築行政への貢献が認められ、兵庫県功労者表彰を受賞されました。誠におめでとうございます。

Ⅳ 行事予定

1 研修交流会

日時：令和7年6月26日（木）
場所：城山カントリー倶楽部

2 月例会

日時：令和7年7月10日（木）
13:30～14:30
場所：神戸市立博物館
演題：「銅鐸とムラ」
～国宝桜ヶ丘銅鐸をめぐる弥生の営み～
神戸市立博物館 学芸員 山本 生馬 氏

3 事業推進委員会

日時：令和7年7月28日（月）
17:15～19:15
場所：神戸元町 老房
演題：
講演：「神戸市の建築行政」
神戸市住宅建築局 副局長
光平 正弘 氏
懇親会

4 月例会（予定）

日時：令和7年9月4日（木）
12:00～14:00
場所：神戸三宮東急レイホテル
演題：「海外での音楽修行」
バイオリニスト 土井 美佳 氏
ギタリスト 木村 モモ 氏

5 理事会（予定）

日時：令和7年9月4日（木）
14:00～15:00
場所：神戸三宮東急レイホテル
内容：・令和7年度事業執行状況
・〃 予算執行状況
・その他

◎編集後記

令和7年度の定時総会が無事終わり、当会の事業が本格的に始動しました。

今年度は、会場を東急 REI ホテルだけで博物館、美術館での月例会、新しくできた神戸アリーナの視察など多彩な事業を計画していますので、御参加の程よろしく願います。

事務局	:	吉本義幸、石井滝実子
電話	:	078-996-2851
FAX	:	078-996-2852
Email	:	archit-k@axel.ocn.ne.jp

安心をカタチに **兵庫県住宅再建 共済制度** **フェニックス共済**



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した
住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ！**

県内に住宅（戸建て・マンションなど）をお持ちの方に		県内の住宅（借家含む）にお住まいの方に
住宅再建共済 年額5,000円で 再建・補修時等に 最大600万円 給付! ※半壊（損害割合 20%）以上		家財再建共済 単独加入 年額1,500円で 住宅とセット加入の場合 年額1,000円で 購入・修復時に 最大50万円 給付! ※床上浸水・半壊以上
一部損壊特約 年額500円で 補修時等に 25万円 給付! ※損害割合10%以上20%未満		

※ 住宅の被害認定（損害割合）は、住宅の所在する市町が発行する「り災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)
FAX: 078-362-4082

E-mail jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp

フェニックス共済 検索 加入申込書はダウンロードできます

「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局（簡易郵便局除く）にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です！

